

平成24年度 当初（骨格）予算の概要をお知らせします

一般会計予算 487億円

平成23年度当初予算比 +23億円 (+5.0%)

(主な増減要因：合併特例債事業25億3,227万円増、過疎地域自立促進特別事業基金積立金4億円増)

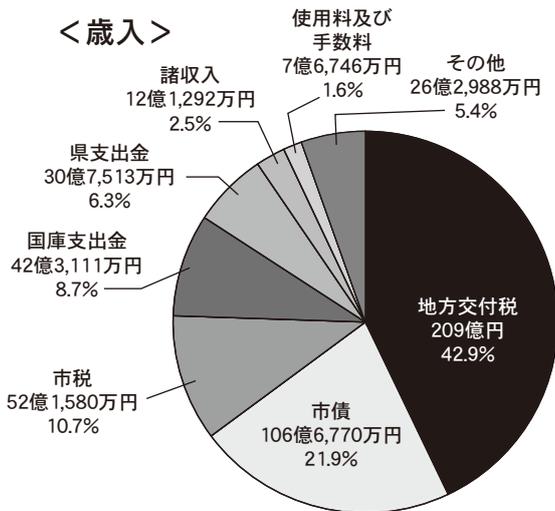
予算のポイント～骨格予算の考え方～

- ①平成24年度当初予算には新たな政策経費は予算を計上していません
- ②人件費や市の借金を返済する公債費などの義務的経費や、施設維持管理などの経常的経費は予算を計上しています
- ③継続して実施している事業は予算を計上しています
- ④新規の事業は原則として予算を計上していません

新たな政策経費や新規事業の予算計上は、今後「肉付け予算」として追加補正される予定です

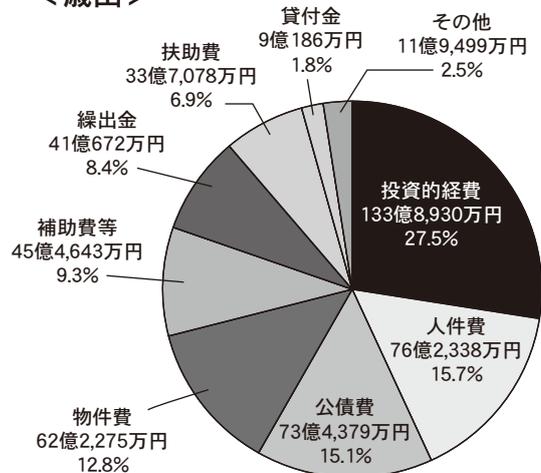
◆一般会計

<歳入>



その他には、地方譲与税(6億円)、地方消費税交付金(6億円)、分担金及び負担金(3億9,332万円)などがあります。

<歳出>



その他には、積立金(6億6,823万円)、維持補修費(3億132万円)、投資及び出資金(1億8,544万円)などがあります。

歳入予算の概要

- ◎市税の減収
52億1,580万円
【▲1億4,820万円(▲2.8%)】
- ◎地方交付税の確保
209億円【±0円(0.0%)】
- ◎市債の増額
106億6,770万円
【+20億8,350万円(+24.3%)】
- ◎財政調整基金繰入金 H22~H24 繰入なし

歳出予算の概要

- ◎合併特例債事業の増額
・合併特例債事業費
88億5,640万円
【+25億3,227万円(+40.0%)】
- ◎義務的経費の抑制
・人件費 76億2,338万円
【▲2億7,521万円(▲3.5%)】
- ・公債費 73億4,379万円
【▲1億6,340万円(▲2.2%)】

平成24年度の当初予算は、一般会計で487億円(前年度比23億円の増)、特別会計を合わせた総額で702億9638万円(前年度比31億1173万円の増)となりました。今年度の当初予算は、4月が市長の改選期となっていることから骨格予算となっています。骨格予算は通常予算とは異なり、継続して実施している事業が含まれている一方、新規・政策事業の経費は除いた予算です。